市民のみなさんと議会をつなぐ

だいとうし 議会だより

2012年 11月 9月定例会号 No.63

だいとうし 街かどスケッチ ……「堂山古墳群史跡広場」(寺川4丁目)

大阪平野を一望できる「堂山」に8基からなる古墳群があります。5～7世紀に築造され、出土品からはこの地域の首長的な人物が埋葬されたと考えられています。平成24年3月に大東市立堂山古墳群史跡広場として整備されました。

審議の内容がもっとわかる！

本会議の録画映像がインターネットでご覧になれます
大東市議会ホームページ
http://daito.gijiroku.com/gikai/

だいとうし議会だよりについてのお問い合わせ
大東市議会事務局　TEL.072－870－0763

もくじ

9月定例会のあらまし……2～3
市議会レポート……3
代表質問……4～7
一般質問……8～10
一般質問項目／議会活動日誌……11
議案の審議結果……最終ページ

市議会を傍聴しませんか

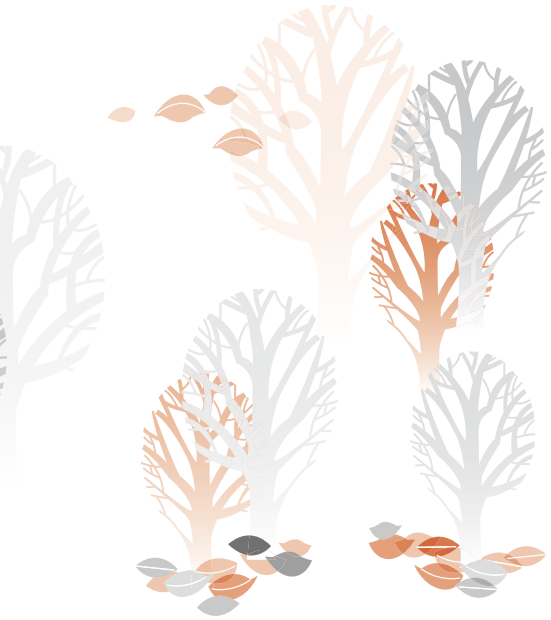
次の定例会の開催予定日です

12月 3日(月)……本会議
(委員長報告〈決算〉・表決、議案上程・委員会付託)
6日(木)……いきいき委員会
7日(金)……いきいき委員会
10日(月)……まちづくり委員会
11日(火)……まちづくり委員会
19日(水)……本会議(一般質問)
20日(木)……本会議(一般質問)
21日(金)……本会議(一般質問・委員長報告・表決)

議場コンサートを開催します 最終ページをご覧ください

変更となる場合がありますので、事前にお問い合わせください。
※請願・陳情の受付期限は、11月20日(火)です。

9月定例会のあらまし



平成24年9月第3回定例会を9月3日に開会し、24年度の各会計補正予算、条例の一部改正・廃止、名誉市民の選定などを審議し、26日に閉会しました。また、9日に日曜議会を開催し、代表質問を行ったほか、24日には夜間議会を開催しました。

（最終ページに関係記事）

24年度一般会計補正予算 17億2042万円を可決

歳入歳出予算の総額に17億2042万円を増額した一般会計補正予算（第2次）を賛成全員で可決しました。

その主なものは、

●年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金に積み立てを行う財政調整基金積立金に11億5968万円（増額）

●市長のマニフェストを推進するための組織として平成24年7月に発足した戦略室の設置に係る事務経費、およびマニフェストに掲げられた全世代地域市民会議の導入に向けた基礎調査を行う戦略室事務経費に479万円

●交差点改良等に伴う用地取得等を行う道路新設改良事業に951万円（増額）

●JR野崎駅の駅舎橋上化について、JR西日本との基本合意に向けた基本設計、および東部地域の交通利便性の向上に向けた検討を行う野崎駅・四条畷駅周辺整備事業に1517万円

●地域の産業特性を活用した産業振興施策を行うにあたり、市内全事業所に対し実態調査を行う地域産業特性活用事業に410万円

●障害者虐待防止センターを設置し、虐待通報の受理、被虐待者の保護、障害者等に対する相談等を行うとともに、関係機関との連携を強化する障害者虐待防止事業に164万円

●諸福児童センターが24年度末で廃止となることに伴い、25年4月に諸福小学校放課後児童クラブを新設開所する放課後児童クラブ管理運営経費に518万円（増額）

●地域における公的介護施設および設備の整備を推進する地域密着型サービス整備事業に2億5650万円（増額）

●小学校（国語・算数）・中学校（国語・数学・英語）の学習教材を作成し、全小中学校において活用、到達度テストを実施することで、児童・生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図り、また、研究フォーラムを開催し、市内学校の優れた取り組みを保護者・地域とともに広く共有し、すべての学校の学校力を向上させる学力向上推進事業に175万円（増額）

●小学校の統合に向けて、深野北小学校・四条北小学校・深野小学校の通学路整備を行う学校通学路整備事業に2483万円（増額）

●①南郷小学校プール改築工事の実施にあたり、地質調査および設計業務を実施　②諸福小学校の図工室を移設し、放課後児童クラブに使用する教室を確保　③小学校の非構造部材の耐震性能を点検　以上の事業を行う小学校維持補修費に3178万円（増額）

●中学校の非構造部材の耐震性能を点検する中学校維持補修経費に1512万円（増額）

●耐震補強等、諸福幼稚園の大規模改造工事の実施設計を行う諸福幼稚園大規模改造事業に240万円

●耐震補強等、北条幼稚園の大規模改造工事の実施設計を行う北条幼稚園大規模改造事業に360万円

などです。

（金額は1万円未満四捨五入）

西村 昭氏の名誉市民選定に同意

市議会議員・第二代市長を務めた故・西村 昭氏について、議員や市長として本市下水道の普及や教育・文化・市民福祉の向上に努めた政治的功績を称えるとして同氏を名誉市民に選定する件が上程され、賛成多数で同意しました。

西村 昭氏（故人） 略歴

昭和43年～51年	大東市議会議員
昭和50年～51年	大東市議会副議長
昭和51年～平成4年	大東市長（第二代）
平成3年	藍綬褒章 受章
平成4年	勲四等旭日小綬章 受章

市立飯盛山荘廃止に伴う条例の一部改正を可決

急傾斜地に立地し、建物の老朽化も進行していた市立飯盛山荘を廃止することに伴う市立老人福祉施設条例の一部改正を賛成全員で可決しました。飯盛山荘は、平成25年3月31日をもって廃止されます。

市立深野・諸福児童センター廃止を可決

平成25年度よりすべての市立小学校に放課後児童クラブが設置されることとなり、放課後児童クラブの代替機能を担っていた市立深野・諸福児童センターを廃止することに伴う市立児童センター条例の廃止を賛成多数で可決しました。深野・諸福児童センターは、25年3月31日をもって廃止されます。

市立総合文化センター条例の一部改正を可決

市立総合文化センター（サーティホール）内の市民ギャラリーについて、利便性向上のため、分割して使用できるようにする規定を盛り込んだ市立総合文化センター条例の一部改正を賛成全員で可決しました。この一部改正は、平成25年4月1日から施行されます。

陳情1件を採択

本市の産業集積の基盤強化と産業振興の促進を図るため、平成25年3月31日限りで効力を失うと規定されている「大東市企業立地促進条例」の失効停止と、一層の内容充実を図ることを求めた「大東市企業立地促進条例の改正についての陳情」を賛成全員で採択し、その実現を求め市長へ送付しました。

意見書2件を可決

えん罪事件を防ぎ、裁判を市民に分かりやすいものとするため、取調べの可視化の可及的速やかな制度化・実現を求める「取調べの可視化（取調べの全過程の録画・録音）の実現を推進する意見書」、過労死をなくすための国・自治体・事業主の責務、国が過労死の調査・研究・総合的な対策を行うことなどを規定した過労死防止基本法の早期制定を求める「過労死防止基本法の制定を求める意見書」の2件を可決し、国へ送付しました。

平成23年度決算は、各常任委員会で審査

平成23年度各会計決算は、所管の各常任委員会に付託され、閉会中に審査されます。

議会市民レポーターの聴いて見てだいとう市議会

子どもたちを笑顔にするまちづくり

放課後児童クラブが市内全小学校に設置されることとなりました。

小学生たちは下校時、みんなそろって家路につきますが、これからの季節は日没も早くなり、車も多くなってきます。また、少数の子どもたちが右に左にと分かれて帰る様子を見ることもありますが、そのころには子ども見守り隊の活動時間外となっています。

子どもたちが笑顔で安心して家路につけるような対策が必要と考えますが、いかがでしょうか。

（Y.O）

「日曜議会」

「日曜議会」は、多くの傍聴を期待して設定されたのだと思います。9月9日の日曜議会では、傍聴席は期待されたとおり満席でした。傍聴者が多いと、質問する議員も答弁する市長、当局側も力が入っているように感じました。

当日は4人の議員が質問に立ち、そのうち2人がテレビモニターを使用されました。モニターの使用は、今議会が初めてだそうです。質問の主旨をより具体的、多彩に表現することができると思いました。

（緑が丘1丁目　和気清実）

課題山積の船出

市長の施政方針やそれに対する代表質問などを傍聴した。議員の多岐にわたる質問と、市が抱える課題の多さに少々驚き、同時に両者の市政に向き合う熱意は、討論を通じて十分に伝わってくるものがあった。

市民の高齢化と人口の減少に伴って市税収入が減少する中、市がすぐにでも取り組むべき課題は山積しており、新市長には前途多難な船出になることと思う。

活気と熱意にあふれた討論がなされる一方で、議会が円滑に運営されていることに心強いものを覚えた。

（野崎2丁目　岡西基弘）

代表質問

大東維新の会

中河　昭　議員

Q 平成24年8月のゲリラ豪雨で、本市では400件以上もの床上・床下浸水の被害が発生しました。市内各水路のポンプを稼働させるタイミングに、遅れはありませんでしたか。

A ポンプ場は大きな問題はなく稼働していましたが、下水道管の排水処理能力を上回る雨量であったため、浸水が発生したと推察されます。今後の対策としては、貯留機能のある既設の未供用増補管の一時的な利用と、建設中の増補幹線の早期完成を府に要望するとともに、本市の雨水排水ポンプの増強、雨水貯留の整備などが考えられ、河川管理者の府と調整しながら取り組む考えです。

Q かねてから、本市小・中学生の学力低下が懸念されています。どのように向上させますか。

A 教育の充実は「子どもたちを笑顔にするまちづくり」の根本であり、「大東市版教育改革」具体化のため、「だいとう教育改革アクションプラン」を策定しました。標準とすべき授業などの「大東スタンダード」を確立し、パートナー校を設定して学校の枠を超えた学び合い、高め合いを目指します。また、模範授業研修の実施や研究授業の公開により、教員の授業力向上に努めます。さらに、本市独自の統一教材を作成して子どもたちの学習意欲の向上に努めるとともに、各校の課題に応じた支援人材を配置します。

Q いじめ問題は、早期対応が最も重要です。児童・生徒の一番近くにいる学校の先生が異変を察知し、いち早く教育委員会に報告するなど、迅速・的確な対応に努めていますか。

A いじめの未然防止、早期発見、早期対応に重点を置いた対応に努めていきます。教職員は、子どものわずかな変化を見逃さずに声かけを行うとともに、いじめの兆候の情報集約、対応方針の決定と具体的対応を指示する担当者を明確化することにより、学校全体が組織的に対応するシステムづくりについて、学校園と教育委員会が連携を図りながら取り組む考えです。

Q 暴走車が集団登校の列に突っ込むなど、痛ましい事故が各地で起こっています。通学路の安全対策について、どのように考えていますか。

A 国が「通学路における緊急合同点検等実施要領」を作成しました。これを受け、本市では8月1日～23日に、全小学校で、教育委員会、道路管理者、警察、保護者などによる合同点検を実施しました。看板設置や路面表示などはすぐに対応し、用地買収などを伴う歩道整備や信号設置は、引き続き関係機関と連携、調整していきます。

Q 四条畷駅周辺整備の着工時期は決まっていますか。

A 四条畷駅東側には都市計画道路と駅前広場を、西側には駐輪場と駅前広場を整備する計画です。整備時期は、現段階では発表できませんが、地域の合意を得た後、用地買収の交渉に入り、積極的に進めていく考えです。

Q 旧北条西小学校跡地への子ども発達支援センター移転計画は、進んでいますか。

A 関係者間の合意形成に向けて取り組んでいます。当初の計画より遅れていますが、貴重な財産を早期に有効活用できるよう課題解決を図る考えです。

Q 飯盛山荘が廃止されます。利用者への対応をどうしますか。

A 24年度末で飯盛山荘を廃止する内容の条例改正案を、今期定例会に上程しています。議決後、直ちに説明会を開催し、市内のほかの施設を利用していただくようお願いする考えです。

平成24年8月6日に実施された北条小学校通学路の合同点検（北条交番前交差点付近）

旧北条西小学校南西角付近に設置されている百合が丘ポンプ場（北条1丁目）

公明党議員団

寺坂　修一　議員

Q 「全世代地域市民会議」の内容と計画、実施することでの費用対効果について、どう考えていますか。

A 地元関係団体などに対し、制度創設への理解と協力をお願いし、平成24年度中に制度設計を行い、25年度から徐々に規模を拡大させ、会議を実施していく考えです。この制度は、地区担当の職員をコーディネーターとして派遣し、市民要望を直に受け止め、意見を交換することにより、市民ニーズの的確な把握に努めるもので、効率的・効果的な公共投資やサービスの実施につながると考えています。

Q 25年度から、すべての小学校で放課後児童クラブが実施されます。これにより廃止される諸福児童センターの跡地に、西部地域の教育関連の拠点施設をオープンできませんか。

A 市民ニーズや地域全体の公共施設のバランスなどを考慮しながら、より多くの市民が利用できるよう検討していきます。

Q 災害に備え、衛星通信など新しい時代の通信設備を配置した、新しい危機管理室を設置すべきではありませんか。

A 本市は、衛星通信を利用した大阪府防災行政無線を設置しており、府や各行政機関とネットワークでつながっています。今後も、危機管理体制の構築に努めていく考えです。

Q 災害時の対策本部としての機能や避難所、備蓄倉庫を兼ね備え、市民交流センターとして利用でき、土曜・日曜・夜間の開設が可能な市役所本庁舎への建て替えを、市制施行60週年の記念事業として実施できませんか。

A 本庁舎は竣工から47年が経過しており、老朽化や使い勝手の悪さが目立つようになりました。また、耐震診断では、震度6強以上の強い地震で倒壊する恐れがあり、耐震補強が必要との結果が示されています。老朽改修、耐震補強を行うのか、最新の機能を備えた新庁舎に建て替えるべきか。判断材料を得るための調査委託費を、補正予算として今期定例会に上程しました。庁舎のあり方については、議員や市民の声を聞きながら、将来を見据え、十分に検討していく考えです。

Q 例えば東京都豊島区役所のように、上層部を高層マンションにして建設費用を大胆に削減する方法もあります。どう考えますか。

A 権利が分散すると、改修時や建て替え時にトラブルとなることが予想されます。そうしたリスクを排除した上で、多機能的な庁舎とイニシャルコストの軽減について検討し、前向きな議論を進める考えです。

Q 住道駅周辺のにぎわいをさらに創出するため、住道駅の自由広場、末広公園のイベント広場、京阪百貨店のにぎわい広場をつなぐ連絡橋を建設できませんか。

A 連絡橋、いわゆるペデストリアンデッキの設置は、橋台を寝屋川に近接して設置する必要があり、橋脚を住道停車場線に設置するなど、多くの技術的な課題があります。また、駅北側の歩行者導線が変わることによる影響も想定され、連絡橋の設置は単独事業ではなく、「水と闘い、水を治め、水とともに生きる大東市」を基本に、総合的な計画のなかで検討すべきと考えます。

Q 東部地域の交通不便対策として、デマンドバスの導入を考えられませんか。

A 東部地域の交通手段については、野崎駅、四条畷駅の周辺整備と合わせ、東部地域の活性化施策の一つに位置付け、十分に検討していく考えです。

築47年が経過し、耐震化の必要性が指摘されている市役所本庁舎

平成25年3月31日をもって廃止される市立諸福児童センター

代表質問

東坂市長の施政方針を受けて、9月9日の日曜日に4会派の代表が質問を行いました。
掲載希望のあった項目を要約して掲載しています。

日本共産党議員団

豊芦　勝子　議員

Q 施政方針では「福祉・教育などの市民サービスを充実させて他市からの流入を促進し、人口を増加させる」とのことですが、具体的な事業を考えていますか。

A まずは、子育て世代の不安や負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりを推進します。また、教育改革アクションプランに基づく教育環境の充実や、医療・福祉サービスの安定した供給などに努めていきます。

Q 「男女共同推進課」を創設する考えはありませんか。また、本市には「人権」の文字が含まれる課や室、センターがいくつもあります。一本化してはどうですか。

A 女性差別、高齢者や子どもの権利擁護、障害者問題、同和問題など、さまざまな人権課題に具体的かつ効果的に対応するため、平成20年度に現在の組織体制を構築しました。社会情勢を踏まえ、組織のあり方について研究を続けていく考えです。

Q 本市納税義務者の所得は、北河内7市の中で低い方から2、3番目です。この状況で、使用料や手数料を値上げするのですか。

A 使用料や手数料は、受益者負担の原則と社会経済情勢を踏まえて見直しを進め、常に適正レベルを維持すべきと考えています。

Q 北条地域にある広大な遊休資産（土地）は、長年放置されています。売却処分ができないなら、長期的な展望で人口流入につながる施策を推進する観点からも、たとえば第2の青少年キャンプ場として整備するなど、市民にとって魅力的な活用方法を検討すべきではありませんか。

A 市の施策の方向性を見きわめ、最も効果的な対応をしていく考えです。

Q 全国の中学校給食の実施率は、22年度で76・9％となっています。さらに「食育基本法」の制定以降、食育の機運は高まり、自校調理方式の効用を再評価する動きや、学校給食における地産地消の取り組みも始まっています。中学校給食の導入について、どのように取り組みますか。

A 「学校給食実施基準」に基づいて検討を進め、今後、特別委員会での議論を踏まえ、導入に向けて前進していきたいと考えています。

Q 深北緑地と市内4カ所の流域調節池の貯留量が相当あるにもかかわらず、24年8月14日の集中豪雨では、市内各所で被害が出ました。なぜですか。

A 降雨量が大阪府流域下水道管・公共下水道管の排水能力を大幅に超えていたためと推察されます。今後は、未供用増補管の一時利用や増補幹線の早期完成を府に要望するとともに、排水ポンプの増強や雨水貯留などの整備を進めていく考えです。

Q 戦国時代に三好一族が築いたと言われる飯盛山城を、地域資源、観光資源として活用するイベントが24年で3回目を迎え、市民や専門家が精力的に取り組んでいます。三好一族の本拠地、徳島県藍住町の勝瑞城館跡は国の史跡に指定され、24年10月開催の勝瑞フェスティバルには、本市と四條畷市の関係者も参加するとのことです。これら一連の動きを好機とし、経済効果につながる取り組みを考えられませんか。

A 歴史豊かな本市の地域特性を活かした取り組みを進めるため、庁内横断的なプロジェクトチームを設置し、議論・検討を進めています。まちのにぎわい形成・経済性ともに重要な視点であり、すでに活動している団体などとの連携を深め、進めていく考えです。

大東中央公園（深野1丁目付近）
地下には56,900㎥の雨水の一時貯留が可能な調節池が設置されている

市民会館2階に設置されている人権啓発室・市立人権教育啓発センター

川口　志郎　議員

Q **創設される「全世代地域市民会議」が市の下請け機関とならないためには、市政全般への市民意識の向上、社会地域力の増進についての粘り強い活動と地域の先頭を切るリーダー、いつでも集まれる場所などが不可欠で、これらが相まって地域主権が実行できると考えます。見解を聞かせてください。**

A 市民会議は、あらゆる世代が参加し、一方的な要望型ではなく、限られた財源の、より効率的・効果的な運営について議論する場にしたいと考えています。開催場所は、中学校の余裕教室や自治会公民館などを想定していますが、いつでも集まれる場所が望ましく、制度設計に反映させる考えです。

Q **私たちは本会議などを通じ、役割を果たし得る十分な機能を備えた、開放感ある子ども発達支援センターの建設を求めてきました。保護者会や関係団体と真摯に話し合い、旧北条西小学校跡地での早期事業化を目指すべきではありませんか。**

A 旧北条西小学校周辺住民からはおおむね了承を得られたものの、保護者との合意形成がこう着状態となっています。本市としては、候補地を旧北条西小学校跡地に絞り込み、合意に向けた準備を進めているところです。

Q **平成24年8月、公共下水道の排水能力を超える集中豪雨があり、市内各所で道路が冠水し、市民生活は多大な心配と損害を被りました。治山治水は政治の要諦です。今後も起こりうる集中豪雨への対策を、どう考えていますか。**

A 本市の公共下水道は、府全体の基準である時間雨量50ミリ前後の降雨に対応できるよう設計されていますが、これを上回る豪雨であったことから各所で冠水したと推察されます。今後は、貯留機能のある既設の未供用増補管の一時利用や、建設中の増補幹線の早期完成を府に要望し、浸水被害の軽減に努めていきます。

Q **野崎駅について、かねてより駅西側の住民から西側改札設置の要望があります。この要望を尊重し、同時に駅東西住民の交流を図るためにも、自由通路を持つ橋上駅舎の建設は必要ですが、これを第一とした駅周辺整備については、周辺住民の意識調査を徹底して住民の定住化を促進するとともに、市財政の充実に向け、昼間人口の拡大も図る必要があります。そのため、本市の観光資源である野崎観音や堂山古墳群、飯盛山を結ぶ回廊整備など、さまざまな施策を図っていくべきではありませんか。**

A 市東部の振興と発展を図るため、駅前広場や道路などの交通インフラを整備し、利便性に優れた駅前広場を創出したいと考えています。また、地域協議会の意見を尊重しながら、歴史的資源を可能な限り活用し、地域活性化を図っていきます。

Q **本市が所管する唯一の防災公園であり、避難拠点となる大東中央公園へのアクセス道路として深野北御供田線がありますが、この道路のうち、防災公園以南の鍋田川～阪奈道路（緊急幹線道路）の整備が急務と、指摘され続けています。しかし、一向に進んでいません。大地震による災害がクローズアップされる今日、この遅れについて、市長はどう考えていますか。**

A 深野北御供田線の鍋田川～阪奈道路間の事業化は、地形・施工上の問題が多く、当初の計画より遅れています。当該道路の防災上の重要性は十分認識しており、地域住民との合意形成に努め、早期に事業化が図れるよう努力していく考えです。

平成24年8月14日の豪雨により冠水した野崎参道商店街

早期の整備が望まれる都市計画道路・深野北御供田線（緑が丘1丁目付近）

一般質問

今期定例会では、14人の議員から一般質問があり、各議員が希望した項目を要約して掲載しています。
なお、各議員の一般質問の主な項目は、11ページ上段に掲載しています。

豪雨の教訓と対策について

大谷　真司　議員（公明党議員団）

問 **平成24年8月14日の集中豪雨では、市内で浸水被害が発生しました。低い土地に流れる水には、土のうが有効です。備蓄状況はどうなっていますか。**

答 大野1丁目と寺川1丁目に、合わせて約1000個あります。

◆土のうの運搬に要する時間を考えると、一刻を争う事態に対処できたとは思えません。高分子ポリマーを用いた土のうがあり、シート型で1枚750gほどですが、吸水すると15kgの土のうになります。これなら各所に分散して保管できます。導入できませんか。

▽さまざまな手法を検討していきます。

◆雨水を一時的に貯める「表面貯留」により、住宅地に流れ込む水を減らすことができます。本市の現状はどうなっていますか。

▽小学校3カ所、中学校2カ所に雨水貯留施設があり、公園では表面貯留1カ所、地下貯留が1カ所あります。

災害時の職員の対応について　など

品川　大介　議員（清　新　会）

問 **(1)平成24年8月14日の集中豪雨では、午前7時30分に警戒態勢が引き上げられましたが、8時45分までに参集したのは対象職員の約4分の1でした。電車が止まっていたことを考慮しても少なすぎます。職員の意識向上と体制見直しが必要ではありませんか。**

答 災害発生時の参集や初動体制は、全職員に周知し対応していますが、ゲリラ豪雨という短時間に発生する災害について、十分な体制がとれたか検証しているところです。今後、職員参集も含め、早急に見直しを図る考えです。

問 **(2)主に母親の就職先が見つからないため、保育所に入所を申し込むものの待機児童にすらなれない「入所保留児童」が多くなっています。どう解消しますか。**

答 入所保留児童は24年9月現在で199人おり、入所定員数の改善など、早期に有効策を講じていく考えです。

随意契約の見直しを

光城　敏雄　議員（無　会　派）

問 **競争入札によらず、任意で決定した相手と契約するのが随意契約です。本市の状況はどうなっていますか。**

答 平成23年度の工事請負に係る随意契約は、209件で計2億5075万円、工事を伴う測量、設計などのコンサルタント業務委託に係る随意契約は、45件で計2515万円です。今後も法的根拠を明確にし、公正性や経済性を確保しながら進めていきます。

◆国の各省庁では、平成17年頃から見直しを始め、着々と一般競争入札に切り替えています。本市も見直すべきではありませんか。

▽できる限り競争入札にかけるよう指導しています。改善していく考えです。

◆随意契約のガイドラインをつくっている市もあります。本市でもつくれませんか。

▽一つの方法としてとらえ、検討していく考えです。

危機管理センターの構築を　など

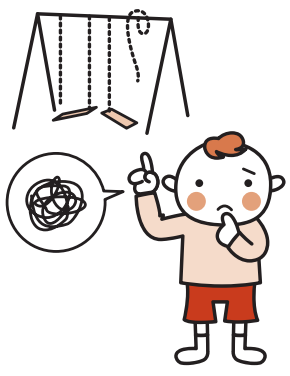
北村　哲夫　議員（大東維新の会）

問 **(1)地震や風水害、テロなどの有事に備え、危機管理課、消防、水道部が連携し、情報を一括集積できる危機管理センターを構築できませんか。**

答 各部署を同一施設内に置くことは、現時点では困難ですが、有事の際に十分連携できる体制づくりに努めています。また、危機管理課と消防の連携を強化するため、危機管理本部を消防本部に一元化する方向で調整しています。

問 **(2)本市の公園を安全で安心して過ごせる憩いの場とするため、老朽化した遊具を計画的に改修できませんか。**

答 本市には都市公園37ヵ所と児童遊園107ヵ所があり、ほとんどが開設から30年以上経過しています。平成18年度から順次、都市公園の再整備を進めており、今後、児童遊園を含むすべての公園の現況調査を行い、遊具の改良や園路のバリアフリー化など、計画的に早期の改修を目指していきます。



にぎわいと活力あるまちに　など

寺坂　修一　議員（公明党議員団）

問 **(1)市が一丸となって人口減少に危機感を持ち、これの改善に取り組むべきだと考えます。にぎわいと活力あるまち**

の創出に向けて、魅力あるイベントを毎月開催できませんか。

答 人口の減少は、税収減、産業の低迷など、まちの活力、にぎわいを低下させます。本市の人口は横ばい状態ですが、人口の増加には優良企業の誘致、企業や商店街の育成、子育て・教育施策の充実など広範な施策の連携が必要です。現在、各部などでさまざまなイベントを実施しており、これを活用してにぎわいの創出に努めていく考えです。

問 (2)歩道のバリアフリー化について、今後どのように取り組みますか。

答 「大東市交通バリアフリー基本構想」により、住道・野崎・四条畷駅を中心とした半径500m～1km圏内に特定経路を設定し、幅員2m以上の歩道確保や段差解消に努めています。

遊休資産の活用を など

豊芦 勝子 議員（日本共産党議員団）

問 (1)多額の税金で購入しながら、売却もできず、30年以上放置されたままの土地が北条地区に3カ所、合計約5000坪あります。第2の野外活動センターとして活用できませんか。

答 遊休資産は、歳入増加の方向性を見極め、最も効果的な対応策を選択する考えです。人口流入に資する活用も視野に入れながら、他市の事例を研究し、前向きに取り組んでいきます。

問 (2)循環型社会の構築は、環境・教育・雇用などに波及効果があると考えます。環境課と教育委員会が連携し、生ごみ処理によるごみの減量化対策を、子どもたちの成長に貢献する取り組みとして事業化できませんか。

答 小・中学校では、社会科や理科の授業、また、総合学習の時間の活用により、さまざまな環境教育に取り組んでいます。生ごみ処理の取り組みは、教育委員会で研究していく考えです。

移動支援事業について など

飛田 茂 議員（日本共産党議員団）

問 (1)移動支援事業は、地域での自主生活や社会参加を促すため、屋外での移動が困難な障害者などの外出支援を行うサービスです。本市の利用できる基本時間は1カ月当たり30時間と短く、これを超える支援を受けるには事前の申請を要し、葬儀などの急な対応が取りにくいとの声があります。改善できませんか。

答 平成25年1月に移動支援および同行援護サービスの基本時間数を増やす方向で、見直しに取り組む予定です。

問 (2)「教育改革アクションプラン」にある「学校づくりスタンダード」で、統一テストなどによる競争の激化や画一化につながる恐れはありませんか。

答 「学校づくりスタンダード」は、例えば授業改善の研究や支援教育のあり方などについて、学校が共通に取り組むべき基準を示すもので、各学校はこれに基づいて取り組んでいきます。

いじめを撲滅する対策を など

大束 真司 議員（公明党議員団）

問 (1)いじめが原因の自殺が跡を絶ちません。子どもたちが教室で人権を学ぶことも大事ですが、自ら体験することはより重要です。命の大切さを育む体験教育を取り入れられませんか。

答 子どもたちが学校で学んだことを自分のものとするには、さまざまな体験活動が有益です。それは、保育所や幼稚園で職業体験をしてきた子どもたちの表情からもうかがえます。総合学習の時間などの活用により、学校外での体験活動や、地域の方による直接指導など、さまざまな学びのかたちを年間カリキュラムに盛り込めないか、学校と連携しながら検討していく考えです。

問 (2)自宅から離れた集積場まで、ごみを運べない高齢者が増えています。対策を考えられませんか。

答 福祉部門と連携し、地域の協力を得ながら、可能な限り個別に対応していく考えです。

浸水被害の原因と対策について

古崎 勉 議員（日本共産党議員団）

問 平成24年8月14日の集中豪雨は、本市をはじめ北河内地域に浸水など多大な被害をもたらしました。原因をどう分析していますか。

答 下水道の排水能力を超える豪雨であったため、浸水したと推察されます。

◆府は時間雨量50㎜に耐えうる排水能力を基準として整備を進めていますが、今回の豪雨では市役所付近で78㎜を記録しました。基準の引き上げと流域下水道の増補幹線への一時貯留を、府に強く求めるべきではありませんか。

▽府は、時間雨量50㎜に対して床下浸水を起こさない、65㎜に対して床上浸水を起こさないことを目標に、流域下水道の整備を進めていますが、完成していません。本市は、目標数値の見直しと現実に即応できる対策への切り替えを進言しました。また、地下河川や増補幹線の早期竣工、未供用増補幹線の一時使用などを府に要望しています。

新公会計制度の導入を など

石垣 直紀 議員（無 会 派）

問 (1)複式簿記の考え方を取り入れた新公会計制度は、財務状況やコスト情報を管理する上で格段に優れています。新公会計制度の導入について、どう考えていますか。

答 本市では、新公会計制度の財務書類4表を総務省方式改訂モデルにより作成、

公表しています。先進自治体である東京都、大阪府、町田市は民間の企業会計に近い独自モデルを導入しており、統一的な基準がないのが現状です。新公会計制度のメリットは認識しており、平成24年2月に立ち上げた研究会で制度推進のあり方を検討しています。

問 (2)来庁する障害者に適切なサポートができる「サービス介助士」を配置できませんか。

答 福祉的な観点から、サービス介助士の配置は有効であると認識しています。より良いサービス提供のあり方を研究していく考えです。

旧北条西小学校の備品について など

中河 昭 議員（大東維新の会）

問 先日、旧北条西小学校を視察したところ、かつて500脚ほどあった椅子やピアノ、給食調理室の厨房器具など、すべてが無くなっていますが、地元や議会への報告はありません。これらの備品はどうなりましたか。

答 椅子の多くは北条小学校へ、他の備品もそれぞれ、必要とする学校が引き取っています。また、使用に耐えないものは、処分しています。

◆旧北条西小学校跡地に、高齢者が憩えるスペースを確保するとのことですが、廃止される飯盛山荘の利用者から、風呂を設置してほしいとの声があります。可能ですか。

▽高齢者にとって最も使い勝手がよいと思われる1階部分に大広間を設置する方向です。風呂の設置については今のところ想定していませんが、要望として議論していく考えです。

地域の活性化について など

三ツ川 武 議員（大東維新の会）

問 (1)本市の人口は減少しており、これに歯止めをかけるには、より質の高い市政が求められます。市の人口の増加や活性化につながる施策について、どう考えていますか。

答 子育てしやすい環境づくりと教育環境の充実、医療・福祉サービスの安定供給を進めます。また、特色あるイベントの開催など、地域の活性化につながる取り組みを検討していきます。龍間地域などの山間部については、府や周辺自治体と協議を進め、環境共生を基本にした広域的活用について検討していく考えです。

問 (2)史上7校目の甲子園春夏連覇を成し遂げ、市民に喜びを与えた大阪桐蔭高校野球部を表彰し、地域の活性化につなげられませんか。

答 選手や指導者と市民が接する場の設定や、栄誉賞の授与などについて、関係部局と検討していきます。

サーティホール内の市民ギャラリーで行われた高校野球決勝戦（大阪桐蔭×光星学院）のパブリックビューイング

芸術文化の振興を

中村 ゆう子 議員（大東維新の会）

問 長年、「大東第九コンサート」が年末に開催されています。当初は、予算300万円の公民館事業として始まり、その後も継続して開催され、現在は「大東第九をうたう会」の主催で、平成24年12月に25周年記念コンサートが開催されます。第九コンサートの継続は全国的にも少なく、市民が誇れる文化です。どう考えますか。

答 毎年、堅実かつ華やかに実績を重ね、25回目を迎えることに敬意を表します。本市には文化芸術の分野で長く活躍している団体がいくつもあり、文化芸術の発展に寄与いただいていると感謝しています。これらの取り組みが「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」につながるとの認識で、今後も環境づくりに努めていきます。

◆他市に類を見ない文化として、広報誌などで積極的にPRできませんか。

▽できる限り協力していく考えです。

東部地域の交通問題 など

酒井 一樹 議員（公明党議員団）

問 (1)三重県玉城町では、デマンドバスの導入以来利用者数が劇的に増え、平成22年からは、ICT（情報通信技術）の活用による外出支援、安全見守り、安全情報配信のサービスを提供しています。本市もこの事例に学び、スマートフォンを高齢者に貸し出し、予約バスや緊急通報に活用するとともに、フルデマンドバスを導入できませんか。

答 今期定例会に、東部地域の現況調査や住民アンケートなどの委託料を予算計上しました。スマートフォンの活用やフルデマンドバスの導入も視野に入れながら、東部地域活性化策の一つとして、十分検討していく考えです。

問 (2)野良猫の不妊去勢手術に係る費用の一部を助成できませんか。

答 繁殖抑制の効果は認識していますが、飼い猫と野良猫の区別が困難で、新たな問題の発生が危惧されます。市民要望などを見極め、検討する考えです。

一般質問の主な項目（茶色の項目は8～10ページにその質疑の要約を掲載しています）

［1］中村　ゆう子 議員
- 薬物乱用防止対策について
- いじめ問題対策について
- 若年層献血の推進について
- アスベスト使用の可能性がある建物の解体
- ラブホテル建築規制に関する条例について

［2］酒井　一樹 議員
- 東部地域における交通問題について
- 野良猫の不妊去勢手術助成金について
- 大阪ミュージアム構想について
- 野崎まいり公園などでの足湯の設置について
- 本市出身の著名人を観光大使に

［3］品川　大介 議員
- 笑顔で元気ある接遇のマニュアル化について
- 庁舎コンシェルジュを接遇リーダーに
- 災害時における職員の参集体制について
- 潜在的待機児童の解消に向けた対策について
- 駅前保育送迎ステーションについて

［4］飛田　茂 議員
- 病院内では支援が受けられない問題について
- 公共交通網の整備で買い物困難者をなくす
- 教育基本法の目的を生かした、詰め込み・競争主義にとらわれないアクションプランを
- 児童センターの存続で青少年の居場所づくり

［5］三ツ川　武 議員
- 地域活性化につながる施策の充実について
- スポーツ活動がもたらす国民的利益について
- 施政方針について
- 南海トラフ地震の被害想定と対策について
- 夏の節電アクションプランについて

［6］大谷　真司 議員
- 治水対策設備と浸水被害発生の所見について
- 豪雨被害を教訓とした防災体制の見直し
- ライブカメラなどで情報収集機能の充実を
- 公共施設への雨量計の設置について
- 自主防災における水防についての啓発を

［7］古崎　勉 議員
- 「大阪都」について
- 市役所庁舎の再整備について
- 浸水被害の原因と今後の対策について
- 中学校給食の実施方式について
- 旧同和行政について

［8］中河　昭 議員
- 市立老人憩の家について
- 幼稚園の耐震補強工事・環境改善について
- 北条踏切の拡幅問題について
- 北条地域の市営住宅の整備について
- 教育委員の行事への出席について

［9］大束　真司 議員
- 通学路の安全対策について
- いじめ対策について
- 休日開庁とコンビニでの証明書交付について
- 地域が抱える諸問題への対策について
- 公用車への電気自動車の導入について

［10］豊芦　勝子 議員
- 支援学級数増加への対応について
- 障害者のニーズに応える独自制度の展開
- 子育て世代の流入策について
- 市営住宅の活用について
- 本市の魅力を全国的に発信するビジョン

［11］寺坂　修一 議員
- 歩道未設置箇所での歩道新設について
- 避難場所の特定のための看板の設置について
- 橋梁の耐震化など社会資本の整備について
- 火災警報器の設置率向上について
- 第二市立体育館の建設について

［12］北村　哲夫 議員
- 東日本大震災被災地の復興支援について
- 河川監視カメラの導入について
- 学校と見守り隊との情報交換について
- 砂子水路敷の管理・整備について
- 消防災害情報システムについて

［13］石垣　直紀 議員
- 新公会計制度の導入について
- 土日開庁について
- 本市の出産一時金について
- 指定管理について
- サービス介助士の配置について

［14］光城　敏雄 議員
- 戦略会議の意義・名称について
- 教育研究所の担当業務と情報発信について
- 市主催の式典や行事で配布する粗品について
- 随意契約の見直しとガイドラインの作成を
- 「犬税」を導入して清掃や巡回の経費に

※掲載は発言順

議会は、こんな活動をしています！

議会活動日誌（平成24年6月第2回定例会以降のもの　H.24.6.26～H.24.9.26）

6月
26日　●議会条例等の整備に関する専門部会

7月
3日　●合同委員会報告会
●議会活性化推進協議会
●議会運営委員会協議会
5日　●中学校給食の実施に関する特別委員会
9日　●大東市農業委員会
10日　●東大阪都市清掃施設組合議会
●大東市の教育環境に関する特別委員会
11日～12日　●東部大阪治水対策促進議会協議会他都市治水対策事業視察
23日　●教育委員と議員との懇談会
24日　●飯盛霊園組合議会
●大阪府後期高齢者医療広域連合議会臨時会
26日　●交通問題に関する特別委員会現地視察
●交通問題に関する特別委員会
31日　●河北市議会議長会

8月
1日　●大阪府後期高齢者医療広域連合議会臨時会
3日　●大阪中央環状モノレール建設促進議会協議会
7日　●議員研修会（兵庫県加古川市行政視察）
9日　●大東市農業委員会
10日　●大阪府市議会議長会正副会長会・理事会
23日　●片町線複線化促進期成同盟会総会
24日　●大阪府市議会議長会総会・研修会
27日　●全議員議案説明会
●議会運営委員会

9月
3日　●全議員議案説明会
●本会議（第1日目）
●議会運営委員会
4日　●交通問題に関する特別委員会協議会
7日　●大東市農業委員会
9日　●本会議（第2日目）日曜議会
11日　●いきいき委員会
12日　●いきいき委員会
13日　●まちづくり委員会
19日　●大東市表彰審査会
21日　●議会運営委員会
●議会市民レポーター会議
24日　●本会議（第3日目）夜間議会
25日　●本会議（第4日目）
●議会運営委員会
26日　●本会議（第5日目）

付議された議案の審議結果 9月定例会

○賛成　×反対

件名 ＼ 会派・議員名（議席順）		大東維新の会 中村ゆう子	大東維新の会 北村哲夫	大東維新の会 三ツ川武昭	大東維新の会 中河昭弘	大東維新の会 岩渕弘	公明党議員団 大東真司	公明党議員団 酒井一樹	公明党議員団 寺坂修一	公明党議員団 大谷真司	日本共産党議員団 豊嶋芳子	日本共産党議員団 古崎勝	日本共産党議員団 飛田勉茂	清新会 品川大介	清新会 水落志郎	清新会 川口康一郎	無会派 石垣直紀	無会派 光城敏雄	結果
24年度補正予算	一般会計補正予算（第2次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	交通災害共済事業特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	下水道事業特別会計補正予算（第2次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	火災共済事業特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	教育委員会委員（田中 佐知子 氏）の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	公平委員会委員（川村 常雄 氏）の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
条例の一部改正	市税条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市立老人福祉施設条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	火災予防条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	消防手数料条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市立総合文化センター条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例の廃止	市立児童センター条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	大東市企業立地促進条例の改正についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書	取調べの可視化（取調べ全過程の録画・録音）の実現を推進する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	過労死防止基本法の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	名誉市民（故・西村 昭 氏）の選定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—（※）	○	○	○	○	○	×	同意
	23年度水道事業利益剰余金処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議員の派遣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※採決時、不在。

日曜議会・夜間議会を開催

9月9日に日曜議会を開催し、開会前に「お茶の作法とその心について ～豊かな市民文化の創造～」と題して大東市茶華道連盟理事長の串本宗貞さんにご講演いただきました。（写真）

講演会後の本会議では、各会派が市長の施政方針に対する代表質問を行い、68名の方が傍聴されました。

また、9月24日に開催した夜間議会では、各会派の議員が一般質問を行い、教育・人権関係団体のみなさまなど66名の方が傍聴されました。

出前議会報告会を開催します

11月17日（土）午後3時～5時ごろまで、市民会館4階大会議室において出前議会報告会を開催し、各会派の議員が9月定例会および平成23年度各会計決算審査の報告を行います。

みなさまのお越しをお待ちしています。

議場コンサートを開催します

12月19日（水）午後1時から、市議会本会議場において議場コンサートを開催します。また、議場コンサート終了後、各会派の議員による一般質問を行います。質問議員は次のとおりです。

①大谷　真司 議員（公明党議員団）……13：20～14：10
②古崎　　勉 議員（日本共産党議員団）……14：10～15：00
③水落 康一郎 議員（清新会）……15：20～16：10
④中河　　昭 議員（大東維新の会）……16：10～17：00

みなさまの傍聴をお待ちしています。

平成24年（2012年）11月1日発行　編集・発行／大東市議会
〒574－8555 大東市谷川1－1－1　TEL.072－872－2181（代）・072－870－0763（ダイヤルイン）・FAX.072－872－3820

古紙配合率70%再生紙を使用しています。R70